

# 明日に向かって2015

「進路」という言葉を大辞林で調べると、①進んでいく道、②人が将来進む方向、とあります。「進む人」は、もちろん子どもです。ですから、「進路」について考えるとき、目の前の子どもがその中心にいないければ本質に迫ることができません。

今年度も、目の前の子どもたちの「よりよい進路や生き方」について、保護者の皆様と教師と一緒に考えられるような進路指導部報「明日に向かって」をお届けします。

## 平成26年度卒業生進路状況

4月より新たなスタートを切った卒業生23名の進路を紹介します。

(一般事業所)	人数	(福祉サービス事業所)	サービスの種類	人数
ナチュラルスタンスクラブ (農作業)	1	ほっぺ (清掃、ラベル貼り、弁当配達等)	就労移行支援	1
安藤醸造 (製造)	1	サンあんぐる (古紙・空き缶回収、紙すき等)	生活介護	2
マックスバリュ広面店 (青果バックヤード)	1	まつくら (ポリパック結束、アンプル箱入れ、スノーポール塗り等)	自立訓練	2
さわやか桜館 (清掃、介護補助)	1	ネット横手 (清掃、軽作業等)	就労移行支援	2
角館さくらさくら (清掃)	1	テnderランドリーファクトリー (クリーニング、軽作業等)	就労継続支援B型	2
ハローワーク大曲 (事務補助)	1	愛仙 (古紙、ペットボトルの仕分け、箱折り等)	就労継続支援B型	1
商業 (清掃)	1		生活介護	2
美郷パン工房→くろまる製菓 (製造補助)	1	後三年鴻声の里 (農作業、軽作業、ポリパックの結束等)	生活介護	1
		しみず (空き缶洗いとつぶし、ポリパックの結束等)	生活介護	1
		かざぐるま (ポリパックの結束、ちぎれ作業等)	生活介護	1



安藤醸造  
寒こうじの袋詰め



ナチュラルスタンスクラブ  
漬け物加工



テnderランドリー  
ファクトリー  
軽作業



愛仙  
運動、体づくり

# お答えします！！～「H27年度 進路に関するアンケート調査」より～

保護者の皆様には、毎年アンケート調査への御協力、ありがとうございます。アンケートの項目の中の「進路についての御希望やお悩み、御相談」に関する内容のうち、多かったものを取り上げたいと思います。

## 小学部の保護者の方から…

・不安や心配事が想像つかないので、卒業生の進路先の例などを教えてほしい。卒業後のイメージがつかない。

→「進路指導部報 明日に向かって2015」の中で、少しずつ御紹介します。身近な先輩だとイメージしやすいこともあると思います。また、PTA研修視察の際に卒業生を紹介したいと思います。

・短期入所施設や訪問入浴介護のことを具体的に教えてほしい。

→具体的な利用施設等については、居住地域との関連もありますので、担任にお問い合わせください。また、市町村から出されている福祉ガイドも学校にありますので、御遠慮なくお尋ねください。

## 中学部の保護者の方から…

・今、希望している事業所（福祉サービス）があるのですが、定員があふれている噂を聞いて不安です。

→福祉サービスは、市町村の障害者福祉計画に基づいて行われています。具体的な福祉サービスには、生活介護、自立訓練、就労継続支援A型・B型、就労移行支援など様々な種類があり、事業所によって受けられるサービスが違います。たとえば、「まつくら」を希望したとしても、実態が生活介護の対象であれば、生活介護のサービスを行っていない「まつくら」は利用できないことになります。本人の実態を基に、福祉サービス事業所や相談支援事業所、御家族、担任、進路担当等が進路相談をして利用先や詳細が決まります。従って、各市町村の福祉担当や福祉サービス事業等の関係機関との連携を密にし、適切な進路先を選択することが重要です。

## 高等部の保護者の方から…

・一般企業への就労先はあるのか。(7)

・就労を希望しているが、福祉サービス事業所の方がよいか悩んでいます。

・障害者を雇用している事業所の意見や希望を聞いてみたい。

→6月14日付けの秋田魁新報で報道されたとおり、この春県内の特別支援学校高等部の卒業生のうち、83名が就職し、過去最多を更新しました。本校では進路担当を中心に職場開拓を行っていますが、保護者の皆様からも多くの情報をいただきたく思います。

また、現場実習や地元実習では「実習評価票」の記入を依頼し、実習先事業所の生の声を聞かせていただいています。評価票の内容については、担任にお尋ねください。

卒業後の進路に関しては、福祉サービス事業所で経験を積み、働く力が十分に付いてから就労しているケースも多くあります。焦らず、お子さんの成長に合わせた進路選択を考えていただければと思います。

# 今日までの道のり

H26年度卒業生の幼い頃からの「歩み」をお届けします。保護者の方の御協力を得て聞き取りをし、まとめたものです。

A さん	B さん
<p>&lt;就学前&gt;</p> <p>○お母さんは、お姉ちゃんとの育ちの違いや周囲の声にも「ちょっと遅れているだけ」という気持ちでいました。</p> <p>○2才半の頃、初めて小児療育センター（現：医療療育センター）を受診。集団生活も大切、とのことで地域の保育所にも通っていました。</p>	<p>&lt;仙北市立西明寺小学校 通常学級&gt;</p> <p>○30人程の学級で、友達に恵まれ円満に過ごしました。</p> <p>○発音が気になり、4年生から角館小学校の「ことばの教室」に通い少しずつよくなっていきました。</p>
<p>&lt;大曲養護学校 小学部&gt;</p> <p>○男子4名「男クラキッズ」と呼ばれる中で、少しずついろいろなことができるようになりましたが、親が思い描いていたような成長が見られないままに卒業を迎えました。</p>	<p>&lt;仙北市立西明寺中学校&gt;</p> <p>○2年生になってから不登校傾向が見られました。始めは原因が分からず、両親ともめたこともありました。関係機関の協力を得て、夏休み明けから特別支援学級に入りました。後になって本人から「勉強が分からなかった」「先生の話が分からなくて辛かった」とのお話がありました。</p> <p>○3年生になって、大曲養護学校進学を決めました。お母さんも本人も学校見学や体験学習を通して不安なく進学しました。中学校の先生からの「養護学校でも頑張れるよ！」との励ましも大きかったです。</p>
<p>&lt;大曲養護学校 中学部&gt;</p> <p>○2年生の春から寄宿舎生になりました。小1から放課後支援や夏休みの日中一時支援を利用していたので、「学校が終わったらどこかに行く」ということが分かり、お母さんの心配をよそに、順調に寄宿舎生活がスタートしました。</p> <p>○舎の先生に「卒業まであつという間だよ」と言われましたが、ピンときませんでした。</p>	<p>&lt;大曲養護学校 高等部&gt;</p> <p>○多くの友達と知り合い3年間を過ごしました。曲養太鼓は、大切な思い出になっています。</p> <p>○1年生の時から現場実習で働くことを学びました。スーパーなどでも実習をしましたが、介護関係の仕事を何度も経験し、「この仕事で頑張りたい」と思うようになりました。</p>
<p>&lt;大曲養護学校 高等部&gt;</p> <p>○新しい友達がたくさん増え、息子のことを理解して関わる周囲の姿を見て、うれしいと感じることも増えました。</p> <p>○複数の実習先を体験したことで、3年Ⅰ期の実習の頃から卒業後の生活を具体的にイメージできました。</p> <p>○3年Ⅱ期の実習を経て、「後三年鴻声の里」の時間の流れが、息子に合っていると分かりました。</p>	<p>&lt;さわやか桜館&gt;</p> <p>○仕事を始めてもうすぐ3か月。今では、自動車免許を取得し、自分で運転して通勤しています。正直、疲れが見られることもありますが、持ち前の明るさで働き、自分に合った職場で充実した日々を送っています。</p>

歩む道や歩み方は違っても、キーワードは自分に合った居場所。一人一人の居場所やよりよい生き方を見付けられるよう、支援していきたいと思えます。次号をお楽しみに…。